

## (速報) ダブリン会議終了

### 日本政府もクラスター爆弾禁止条約採択！

ダブリン会議は、2008年5月19日開幕し、30日に「クラスター爆弾禁止条約 (Convention on Cluster Munitions)」を参加111カ国の全会一致で採択して閉幕しました。これで、クラスター爆弾を禁止する条約は、今年12月2-3日にオスロで予定されている調印式を経て、30カ国の批准から6ヵ月後に発効することになります。

この条約では、実質的には、従来使用されたことのあるクラスター爆弾が、ほぼ全て対象となる全面禁止に限りなく近い定義が採択されました。

また、オタワ条約にはなかった犠牲者の定義を設け、肉体的損傷以外にも精神的・経済的負担を強いられている人たちも被害者に含め、しかも、本人のみならず家族やクラスター爆弾によって汚染されている地域も被害者として認めています。そして、被害者支援では、医療支援のみではなく、精神的支援や社会・経済的統合に関する支援を行うことを決め、そのために信頼のおけるデータ収集をすることを義務付けました。更に、被害者のジェンダーや年齢に配慮するよう求める文言も含められ、充実した内容になっています。

2月のウェリントン宣言に署名した日本政府は、ダブリン会議にも正式参加したが、当初、部分的な禁止を訴えていたので、ダブリンで条約に合意するかどうか、本当にわかりませんでした。ですから、最終的に、日本政府が政治的判断によって全会一致採択に賛成し、加盟に同意したことは大きく評価されることです。